

平成29年度決算について(概要)

(1) 資金収支計算書

平成29年度の資金収支の状況は、当該年度の収入額が37億8,902万4,742円、これに、前年度より繰り越された26億7,442万6,075円を加えると収入の部合計は、64億6,345万817円となった。

一方、支出額は、人件費、教育研究経費、管理経費、施設関係、設備関係、資産運用、その他の支出を合わせると36億9,392万196円であったので、差引27億6,953万621円が翌年度の繰越支払資金となり、昨年度より9,510万4,546円増加した。これは、支出における人件費支出や教育研究経費支出、施設関係支出などが増加したものの、収入における学生生徒等納付金収入や雑収入、借入金等収入などの増加が上回ったことによるものである。

(2) 事業活動収支計算書

平成29年度の事業活動収支決算のうち、教育活動収支の概要について予算との対比で説明すると、収入については、手数料、経常費等補助金を除く、学生生徒等納付金、寄付金、付随事業収入、雑収入の科目において予算額を上回った。

学生生徒等納付金については、25億9,432万2,550円、経常費等補助金は6億7,767万1,449円となった。これらの結果、教育活動収入額は、予算を2,913万7,056円下回り、35億2,449万5,944円となった。

一方、支出については、人件費は予算額を上回ったが、教育研究経費、管理経費などは予算額を下回り、その結果、教育活動収支における教育活動支出額は、35億4,266万8,563円となった。

この結果、教育活動収支差額は△1,817万2,619円となり、その他の、教育活動外収支差額及び特別収支差額を合わせて、基本金組入前当年度収支差額は、8,298万4,076円となった。

また、基本金への組入額は、4億4,928万6,170円となっている。この内訳は、牛田キャンパス1号館の耐震補強工事などによる第1号基本金組入額が2億1,728万6,170円、短大新棟I建築に係る第2号基本金組入額が、2億3,200万円となっている。

基本金組入後の当年度収支差額は、△3億6,630万2,094円で、これに、前年度の繰越収支差額と基本金取崩額を合算した翌年度繰越収支差額は△28億9,690万3,749円となった。

(3) 貸借対照表

学園の財政状態を貸借対照表によって説明すると、平成29年度末現在の資産の総額は、153億5,243万5,711円となった。その内訳は、有形固定資産87億1,746万2,422円、特定資産32億8,882万7,315円、その他の固定資産3億4,124万735円及び流動資産30億490万5,239円(内未収金2億2,647万4,201円)である。

他方、負債の総額は、退職給与引当金、前受金など固定負債及び流動負債を合計して23億5,970万5,571円、基本金は、校地、校舎、機器備品、図書など教育研究に必要な資産の自己調達額を示す第1号基本金が140億973万3,889円、将来固定資産の取得に充てる第2号基本金が16億5,990万円、学校を恒常的に維持するための資金を示す第4号基本金が2億2,000万円となっている。